

## 令和4年度学校評価（保護者・児童・教職員自己評価アンケート）の結果について

昨年度に引き続き、今年度も「すぐる」アンケートによる形で保護者の皆様に学校評価アンケートを募りました。経年比較のためにできるだけ同じものにしてはいますが、本年度新たに設定した項目もあります。

### <Ⅰ やさしい子>

	評価項目	保護者			児童			教員
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	R4
①	他人を思いやる心が育っていますか。	3.4	3.4	3.3	3.7	3.6	3.7	2.8
②	社会生活に必要な協力・責任などの道徳性が育っていますか。	3.3	3.2	3.2	3.5	3.4	3.5	2.9
③	よい友達関係ができていますか。	3.4	3.3	3.2	3.5	3.5	3.7	3.5
④	違う学年の友達と遊んでいますか。				2.9	2.9	3.1	2.9

他の項目や設問の結果と比較しても、例年数値の高い分野です。児童の自己評価で、他人へ優しくできているという評価が高いことは、道徳教育や日頃の学級活動の成果と捉えています。友達関係については、児童の認識と保護者の評価に違いがあり、お子様の友人関係について様々な思いを抱かれています保護者が多いと考えられます。今後も、学校と家庭が連絡を密にとり、情報を共有していくことが必要であると考えます。

### <Ⅱ かんがえる子>

①	きまりを守り善悪を判断し行動できるようになってきましたか。	3.4	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.0
②	学校の勉強が楽しそうですか。	3.0	2.8	2.9	3.3	3.2	3.3	3.4
③	学校の勉強をよく理解していますか。	3.0	2.9	2.8	3.3	3.3	3.4	3.5
④	本を読むことが好きですか。	2.8	2.7	2.7	3.2	3.1	3.3	2.8

児童の数値の上昇は、学習に対する姿勢の変化と結び付くものと考えます。④の保護者の数値の低さは、子どもにもっと本に親しんでほしいと願う気持ちの反映とも考えられます。読書によって身に付く学力や育つ心を考えると、学校における読書環境の整備に力を入れるとともに、どのように家庭と協力していくかが課題であると考えます。

### <Ⅲ たくましい子>

①	進んで体力づくりに取り組もうとしていますか。	2.8	2.7	2.7	3.3	3.2	3.3	2.9
②	交通安全の意識が高まっていますか。	3.3	3.2	3.3	3.5	3.5	3.6	3.1
③	粘り強く取り組む姿勢が見られるようになってきていますか。	3.0	2.8	2.7	3.2	3.3	3.4	3.1

本校児童の運動能力の実態は決して高くなく、本年度はその対策としてリズム縄跳びや鉄棒週間などのイベントなどを推進してきました。楽しく体を動かすことも大きなねらいでしたが、練習を重ねた後に達成する喜びを知ってほしいという願いがありました。それらが、児童の自己評価も含まれているとしたら大変喜ばしいことだと考えます。交通安全の意識付けについては、繰り返し伝えていく必要がありますので、今年度作成しました新安全マップをもとに、ご家庭でも定期的に話題にいただければ幸いです。

<IV 家庭・地域との連携>

	評価項目	保護者			児童			教員
		R2	R3	R4	R2	R3	R4	R4
①	早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身に付いていますか。	3.2	3.1	2.9	3.1	3.2	3.2	2.8
②	家で学習する習慣が身に付いていますか。	3.0	2.7	2.7	3.1	3.1	3.1	3.2
③	学校は、地域や家庭と連携をとって教育を進めていると思いますか。	3.0	2.9	2.9	/			3.1
④	家庭で進んでお手伝いをしていますか。	2.8	2.8	2.7	3.0	3.0	3.1	/

寝早起き朝ごはんの習慣については、保護者の回答を見ると数値的に下降が続いています。学校では早寝早起きのもたらす効果や朝食の大切さについて力を入れて指導しています。家庭との協力連携が課題のようです。また、家庭学習についても、教員側において実施した「家庭学習が習慣化するように努めたか」(3.2ポイント)とは隔たりがあり、学校と家庭の間において、家庭学習に対する共通理解をより確かにしていくことが必要であると感じます。

<V 合言葉 み・そ・あ・じ>

①	身(み)だしなみなどに気をつけて生活していますか。	3.2	3.0	3.1	3.3	3.3	3.4	2.9
②	部屋の整頓や(そ)うじなど、自分できちんとしていますか。	2.6	2.4	2.5	3.2	3.1	3.2	3.0
③	おはよう、(あ)りがとうなど、元気なあいさつができていますか。	3.2	3.1	3.1	3.4	3.3	3.4	2.8
④	時間(じかん)を大切に、規則正しい生活をしていますか。	3.0	2.9	2.7	3.2	3.1	3.3	2.9

学校生活における基本的な生活の約束事を、子どもたちの中に定着させたいと取り組んでいます。家庭においてはまだまだという部分もあるようですが、日常の指導や声掛けを継続しながら、子どもの中で意識が無意識のレベルに高まるまで繰り返し働きかけていきたいと思えます。

<VI その他の項目> 保：保護者への質問 児：児童への質問 教：教員への質問

①	保・児：楽しく学校生活を送っていますか。 教：楽しく学ぶことができる学級づくりに努めましたか。	3.5	3.4	3.3	3.6	3.5	3.6	3.1
②	保：学年だよりや学校HP等で、学校や学級の状況が家庭に伝わっていますか。 児：先生に何でも相談できますか。	3.3	3.2	3.2	/			/
③	保・教：学校は、子供の健康や安全、事故防止のための配慮をしていますか。 児：学校では安心安全に過ごすことができますか。	3.4	3.2	3.1	3.4	3.5	3.5	3.3
④	保・教：学校の感染症対策をした上での諸活動の実施の判断は適切ですか。 児：先生はあなたの頑張ったことをほめてくれますか。	3.4	3.3	3.1	/			3.2
⑤	保：お子さんの自己肯定感についてどう感じていますか。 児：あなたは自分のことが好きですか。	/		2.8	2.8	2.9	/	

「学校で楽しく過ごせていますか」の質問には、多くの児童が肯定的な回答を寄せていますが、保護者の見方とのギャップが年々広がっているのが気にかかります。自己肯定感に関しては、意識して子どもの良い点に目を向けて言葉がけをしていくことが必要であると考えます。「学校のコロナウイルス対策をした上での諸活動の実施の判断は適切ですか」に関しては、昨年度、一昨年度と比較して保護者の数値が下降しています。保護者間においても、様々なお考えやご意見がある中、子どもにとって最も良い選択ができるように、今後も検討していきたいと考えます。